

青嵐

公立大学法人

北九州市立大学 学報

THE UNIVERSITY OF KITAKYUSHU INFORMATION SEIRAN

SUMMER Vol.13

発行日 / 2008年7月31日

発行元 / 北九州市立大学広報入試課

大学見学を訪れた高校生への説明風景



特1集

地域創生学群を新設

～地域を担う人材の育成を目指して～

特2集

大学院で学ぶ

学部からの進学者へ

★トピックス…>>>>⑤

入学式 / 平成19年度卒業生就職状況 / 地震への義捐金 / 防犯対策講演会

★お知らせ1…>>>>⑥

教員人事 / 環境・消防技術開発センター / アジア文化社会研究センター

★お知らせ2…>>>>⑦

中期計画・後期基本方針・平成20年度計画

★活躍する教員紹介…地域貢献活動>>>>⑧

★部活動紹介…音楽サークル

★経営審議会委員からひと言…中津井委員>>>>⑨

★会議開催…教育研究審議会、経営審議会

★入試情報…試験日程、募集人員>>>>⑩

題字：阿南 惟正 理事長筆



◆北九州市立大学の新しい『学部』

地域創生学群を新設

伊野先生(地域創生学群設置準備委員長)インタビュー



来年度開設の『地域創生学群』。
北方キャンパスに、
どんな新しい学びの場が誕生するのか。
学群設置を進めてきた伊野先生に、
いろいろとお尋ねしました。

■伊野憲治
◆基盤教育センター教授
【専門分野】
地域研究論(地域学)、
ミャンマー研究、
共生社会論、障がい学



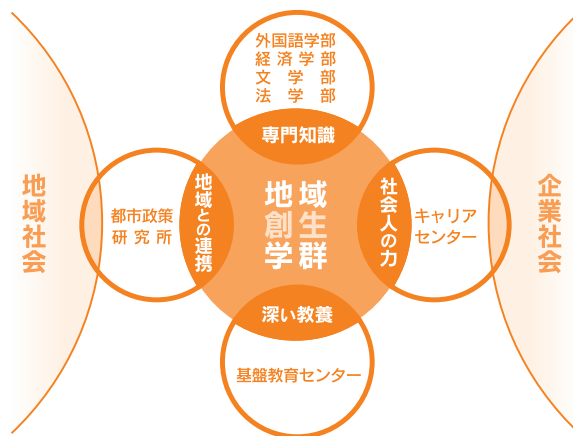
Q1 本学の新学部「地域創生学群」。
耳慣れない名称ですが、どんな意味が込められているのでしょうか。

まず、学群の名前「地域創生」ですが、「地域社会の再生と創造に貢献する人材」を育てていきたいという学群が目指す目的をこの言葉で表現しました。

それから、「学群」ですが、現代社会の持つ諸問題が複雑に混在している地域を総合的に理解・把握するには、特定の分野の学問を学ぶだけでは本当の力は付きません。

そこで、学部ではなく、複数の部署から多様な専門分野の教員を結集できる学群方式を採用しました。

学群方式は、筑波大学や福島大学でも採用されています。総合大学である本学だからこそできる組織です。学群でも、学生生活や学歴の取扱いは通常の学部と変わりません。



Q2 学群の担当教員は決まっているのですか。

現在、私をはじめ基盤教育センターや都市政策研究所、キャリアセンターに所属する12人の先生が決まっています。

来年4月の開設時には4人の新しい先生を迎え16人の教員体制になります。

Q3 どういった経緯で学群の新設となったのですか。ご苦労もあったかと思えます。

全学的な夜間主コースの見直しの流れの中で、社会人教育をどのような形で維持していくかという問題がありました。この議論は、独法化以降本格化し、かなりの議論を重ねてきたと思います。様々なアイデアが出され、検討された結果、現在のような、社会人と高校新卒者が共に刺激しあいながら学

びを深めるという方式を採用することになりました。いろいろな制約があり、「難解なパズルを解く」ような作業でしたが、設置準備委員や事務局、そして多くの方々のご協力により、ユニークな学群になるものと自負しています。

Q4 数字の「3」がキーワードとなっていますが。

3は偶然です(笑)。学群では、『3つの履修コース』を設け、学群が養成する地域創生を担う人材像をわかりやすくしています。

また、①幅広い教養を身に付ける「基盤教育科目」
②地域の総理解で核となる「専門基幹科目」
③各コースに応じて確かな専門性を学ぶ「専門科目」の『3つの科目群』を設けて科目群の相互の関係を重視した教育を行うことにしています。



地域マネジメントコース

地域をマネジメントする力と社会で即戦力となる経済・法律の知識を備え、行政機関・企業・NPOなどで働き、地域の活性化に活躍する人材を育てます。

専門科目の主な分野 経済・経営 情報
法律・政策・都市計画

卒業後の進路 公務員、シンクタンク、コンサルティング会社、情報関連産業、その他一般企業、NPO、コミュニティビジネス等



夜間特別
枠あり

地域福祉コース

住民が支え合い豊かに暮らす地域福祉の理論を会得し、福祉施設・行政機関・NPOなどで働き、福祉の現場をコーディネートできる人材を育てます。

専門科目の主な分野 福祉 心理・メンタル 社会

卒業後の進路 福祉施設、福祉関連団体、医療機関、公務員、その他一般企業、NPO等



夜間特別
枠あり

地域ボランティア養成コース

社会貢献活動の意義やスポーツ・福祉分野でのボランティア活動の理論・実践に精通し、社会を支える仕事でリーダーシップを発揮できる人材を育てます。

専門科目の主な分野 ボランティア
スポーツ・健康 福祉

卒業後の進路 健康・スポーツ関連企業、福祉関連団体、公務員、スポーツ指導者、その他一般企業、NPO、ボランティア、地域のリーダー・見守り役等

Q5 4年一貫のゼミや2年・3年次の現場実習という他学部にはない特徴がありますね。

各コースでの「体系を持った総合性」の実現が重要です。このため、1年生の時からゼミ形式の少人数演習を実施して、学生一人ひとりの学びを担当教員がサポートしていきます。

また、実社会では、知識・理論を実践していく力を持った人材を求めています。現場実習での体験とゼミを結びつけ、真に使える課題発見・企画立案能力を養っていきます。

Q6 入試もユニークですね。

学群では、地域社会の様々な分野で指導的役割を担える地域創生人材の養成を目指しています。

このため、本学で初めてのAO入試や従来とは違う形の一般選抜など入試では、基礎学力と同時に総合的な人間力の有無を重要視し、面接を課しています。

例えば、一般選抜では、部活動やボランティア活動など様々な分野の経験・実績も勘案した総合的な選抜を行います。

Q7 高校にも積極的に訪問していると聞いていますが。

まだまだ知名度が足りないと感じています。そこで、学群担当教員が一丸となって高校訪問を行っています。6・7月だけでも51校にお伺いしました。直接お会いして、各校の先生・生徒さんに、学群創設の理念を理解いただいで感謝しています。

Q8 社会人の修学環境にも配慮しているそうですね。

来年度からは、本学の社会人教育・夜間教育の機会を学群で提供していくことになります。社会人特別選抜は11月に実施します。

社会人の方々がより学びやすいよう、6・7限と土曜日の授業で卒業可能な夜間特別枠(地域マネジメント・地域福祉コース)を設けています。この夜間枠では、入学金・授業料も半額としています。

また、仕事などの事情がある場合、4年間の学費で最長6年間の履修を認める「長期履修学生制度」を新たに導入しています。

Q9 学群にロゴマークを作ったそうですね。

学群設置の一つの目的として、より多くの人々に、大学を身近なものに感じてもらいたいということがあります。ロゴマークを作ろうというのも、そんな気持ちから出た発想でした。学部レベルでロゴマークがあるのは日本でも珍しいかもしれませんね。

Q10 最後に一言。

こうした試みは、公立大学として地域貢献の期待に応えるとともに、新しい学生層の開拓など大学全体の魅力の向上に寄与するものと期待しています。本学の建学の精神「フロンティアスピリッツ」で、学生と共に良いものを作り上げて行きたいと思っています。

大学院で学ぶ

学部からの進学者へ

修士号が狙い目!

社会システム研究科(博士前期課程)



北九州市立大学では、平成20年4月より、新しく社会システム研究科博士前期課程を開設しました。既存の修士課程であった経営学研究科、外国語学研究科、経済学研究科、人間文化研究科を再編統合したものです。これによって、これまでの社会システム研究科博士後期課程と併せて、5年一貫の大学院教育体制が構築されました。修士課程に相当する博士前期課程には、再編した現代経済専攻、地域コミュニティ専攻、文化・言語専攻と、新たな東アジア専攻の4専攻を置き、多様なニーズにこたえます。



概要

- 1) 修業年限: 2年
- 2) 修了単位: 30単位
- 3) 開講時間: 平日、土曜日昼夜間開講

専攻、定員、学位、取得できる資格

◆現代経済専攻

国内外の産業社会の動向を的確に把握し、地域経済・産業政策を実践的、理論的に提示できる人材及び公共的業務や企業等において活躍できる高度な専門職業人を養成します。

- 定員/8名
- 修士(経済学)
- 免許状/
高等学校教諭専修免許状(公民)

◆地域コミュニティ専攻

地域コミュニティの再生を目指し、人間関係に係る学際的学問領域を統合し、高度な専門職業人の養成と生涯学習の視点から、高度専門的リカレント教育を行います。

- 定員/8名
- 修士(人間関係学)
- 免許状/
高等学校教諭専修免許状(公民)

◆文化・言語専攻

文化と言語に係る専門知識と能力を涵養し、深い洞察力和広い視野を持つ人材の養成及び専門職業人を養成します。

- 定員/10名
- 修士(比較文化)
- 修士(英米言語文化)
- 修士(中国言語文化)
- 免許状/
中学校教諭専修免許状(英語)
高等学校教諭専修免許状(英語)
中学校教諭専修免許状(中国語)
高等学校教諭専修免許状(中国語)

◆東アジア専攻

グローバル化の進行する社会にあつて、東アジアをはじめとする国際社会において活躍できる人材の養成及び専門職業人を養成します。

- 定員/8名
- 修士(国際学)
- 免許状/
中学校教諭専修免許状(英語)
高等学校教諭専修免許状(英語)

法学研究科

◆法律学専攻・修士課程

法学研究科では、幅広い視野に立つ精緻な法学的知識を身に付け、地域社会の多様な法的問題に応える高度な専門職業人の養成を目指しています。

法律学系・政策科学系を設定し、それぞれの系に、学習主体の目的に応じた

①研究者養成コース、②社会人コース、③アドヴァンストコースの3コースを設置しています。

- 定員/1学年10名×2年
- 免許状/中学校教諭専修免許状(社会)
高等学校教諭専修免許状(公民)



北九大ビジネススクール 平成21年度学生募集



カルロス・ゴーン氏とのパネルディスカッションに備え、日産自動車刈田工場から講師をお招きして勉強会を実施

北九大ビジネススクールは、主に社会人を対象にMBA(経営学修士)の学位を授与する専門職大学院です。

専門職大学院としては、公立では全国初、九州では、九州大学に続き2校目として、平成19年4月に開設しました。現在、1期生、2期生合わせて、69名の学生が学んでいます。

火曜日から金曜日の平日夜間は、小倉サテライトキャンパス(小倉駅北口AIMビル7階)で、土曜日は北方キャンパスで講義を行っています。修業年限は2年間ですが、最長4年間までの長期履修制度を取り入れています。

また、講師陣も、理論・体系に強い大学教員に加え、実社会での経験・実績豊富な実務家教員も多数参画し、地域の中核的役割を担える高度なマネジメント能力を備えたリーダーの養成を目指しています。

●募集人員/30名(主に社会人を対象としていますが、進学者も若干名募集しています)

●出願期間(詳細は学生募集要項をご確認ください)

①秋期入試 平成20年8月29日(金)~9月5日(金)

②冬期入試 平成21年1月7日(水)~1月14日(水)

平成20年11月20日(木)・21日(金)にAIMビルにて、冬期入試説明会を予定しています。



「環境モデル都市」
北九州が誇る!!

国際環境工学研究科

平成20年4月、国際環境工学研究科に新しく「環境システム専攻」が設置されました。

これまでは、「環境工学専攻」と「情報工学専攻」の2専攻を設置していましたが、その後の地球環境保全に関わる社会ニーズの拡大、北九州市の資源循環型社会への転換強化施策の展開などこれらに対応し推進できる高度専門職業人材の育成が強く求められるようになり、資源循環型社会の構築や俯瞰型視点からの問題解決を目指すべく「環境システム専攻」を新設したものです。

「環境システム専攻」は、21世紀の人類の課題である環境問題の解決と資源の有効利用について取り組むにあたり、アジアの環境保全と資源有効利用に焦点をあて、これらの課題に先駆的に対応できる高度な技術力を備えた人材を育成することを目指しています。

国際環境工学研究科では、このような持続可能な「資源循環型社会」を創っていくための環境技術・環境システム技術開発拠点を目指した取組み、そして、産学連携による情報通信技術の開発・新産業の創出を実施しています。また、その一方で、カー・エレクトロニクスのような製造業の強化も最重要施策の一つと位置づけ取り組んでいます。

また、国際環境工学研究科では、他学部から入学したい学生にも配慮して、環境工学や環境システム、情報工学専門分野の知識・スキルを補うための基礎科目も開設しているため、在学した学部を問わず自分が研究したい分野に取り組むことができます。

「環境モデル都市」に選定された北九州市に在る「国際環境工学研究科」で、「環境問題」という21世紀の世界規模での最重要施策について、皆さん研究してみませんか。

☆旬情報☆

「カーエレクトロニクス インテンシブプログラム」

北九州市で積極的に取り組んでいるカー・エレクトロニクス部門に関連するプログラムであり、希望に応じて修了条件を満たしながら受講できる「カー・エレクトロニクス設計開発中核的人材育成」のためのインテンシブプログラムです。

自動車の電子化に伴い、ハードウェアとソフトウェア両方の知識を有し、総合的なシステム設計を実践的にできる人材の育成が渴望されています。当インテンシブプログラムでは、組込みシステム開発演習と車載向けLSI設計演習を中心としたソフトウェアとハードウェアの教育を行い、システム設計の知識を十分に習得した技術者を養成します。

インテンシブプログラムの一部には、産学連携講座の科目が含まれていますので、実践的な技術の教育とハンズオンの演習が実施されます。

| | | |
|-----------|----------|--|
| 国際環境工学研究科 | 環境システム専攻 | 資源循環型社会の構築や俯瞰的視点からの問題解決を目指す。 |
| | 環境工学専攻 | 人工物と自然環境の調和・融合を目指す。 |
| | 情報工学専攻 | サイバースペースにおける情報環境の提供により社会に豊かな環境を創り出すことを目指す。 |

TOPICS

トピックス

平成20年度4月入学式

4月7日(月)に北方キャンパスの体育館兼講堂において、2008年度入学式が挙行され、新たに1,595名が入学しました。入学式では阿南惟正理事長から、「夢を持って」、「良き友人を作れ」、「心の豊かさを大切に」という3つの言葉に加え「健全な精神は健全な身体に宿る」という言葉が贈られました。また、矢田俊文学長からは、「一日一日充実した生活を送ることが、これからの人生への大きな跳躍台となる」と式辞がありました。

あいにくの雨模様で桜が舞い散る中での入学式でしたが、式が終わる頃には雨も上がり、明るい日差しが新入生を照らしていました。

4月12日(土)には、ビジネススクール(専門職大学院マネジメント研究科)の入学式が挙行されました。今年は、第2期生として、23才から56才と幅広い年齢層の32名が入学しました。式では、齋藤貞之マネジメント研究科長より、「社会的責任を十分に自覚し、品位のあるリーダーに育つことを期待します」と挨拶があり、北九州商工会議所副会頭の中村真人・井筒屋代表取締役会長より「地域の活性化を担う心づもりで2年間取り組んでほしい」と激励がありました。



四川大地震の被災者への義捐金募金

平成20年5月12日、中国四川省で発生した大地震の被災者に対し、北方キャンパス・ひびきのキャンパス双方の留学生会が中心となり義捐金募金活動を行いました。

多くの方の温かいご協力により、募金の総額は

北方のキャンパスで395,415円、

ひびきのキャンパスで1,591,294円

(FAIS、早稲田大学、九州工業大学含む)

となりました。

皆様のご協力に心より感謝申し上げます。



義捐金を総領事館に届けました
(中国駐福岡総領事館にて)



総領事館から感謝状をいただきました
(学長室にて)

平成19年度卒業生の就職状況、過去最高を記録!

平成19年度の卒業生のうち就職者は1,006名となり、大学史上初めて1,000名を超えました。

就職率(就職者/大学院進学を除く卒業生)は77.6%と、昨年の74.1%を3.5ポイント上回り、就職決定率(就職者/就職希望者)も95.5%で昨年比0.1ポイント上昇、平成4年度以来、15年ぶりの高水準となりました。

各学部ごとの状況は下表のとおりとなっており、特に国際環境工学部は平成16年度に卒業生を輩出して以来初めて就職決定率100%を達成しました。

今後も、インターンシップや就職活動ガイダンス、個別進路相談等、きめ細かな就職支援を実施していきます。

◆平成19年度 卒業生就職状況

平成20年3月31日現在

| | 外国語学部 | 経済学部 | 文学部 | 法学部 | 国際環境工学部 | 計 |
|---------------------|-------|-------|-------|-------|---------|-------|
| 就職率 ^{※1} | 73.8% | 82.1% | 73.4% | 69.3% | 97.2% | 77.6% |
| 就職決定率 ^{※2} | 95.9% | 98.0% | 92.9% | 91.5% | 100.0% | 95.5% |

※1) 就職率=就職者数/大学院進学者を除いた卒業生

※2) 就職決定率=就職者/就職希望者

防犯対策講演会を開催

全国各地で凶悪かつ無差別な犯罪が多発しています。こうした事態を受け、本学では授業やゼミ等を通じて全学生へ「注意喚起」を促すと同時に「防犯ブザー」を配布するなど、全学を上げて防犯意識の向上、被害防止を図っています。その一環として、夏季休業前の7月23日に、北方キャンパスにおいて、小倉南警察署の協力のもと、「防犯の心得」や「護身術」などをテーマとした防犯対策講演会を実施しました。

開催日時/平成20年7月23日(水) 14:40~15:40

開催場所/北九州市立大学北方キャンパス

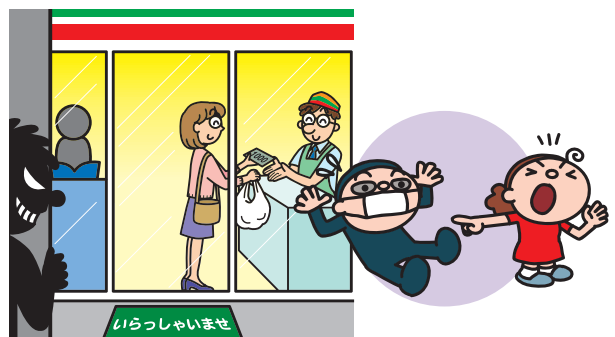
本館A101教室

◆講師 北九州市立大学法学部 教授 バク ウォンキョ 朴 元奎

テーマ 「被害予防のための指針を考える」

◆講師 小倉南警察署生活安全課 防犯係長 篠塚重信氏ほか

テーマ 「防犯の心得」及び「護身術」



お知らせ①

教員人事

副学長、学部長等

平成20年4月1日付

【副学長】

近藤 倫明(地域貢献、国際交流、評価担当)
松藤 泰典(産学連携、ひびきのキャンパス担当)
中野 博文(教育・研究担当)

【学部長等】

| | |
|-------------------------------|--------|
| 外国語学部長 | 板谷 俊生 |
| 経済学部長 | 白石 和孝 |
| 文学部長 | 松尾 太加志 |
| 法学部長 | 山本 光英 |
| 国際環境工学部長 (大学院国際環境工学研究科長兼務) | 梶原 昭博 |
| 大学院社会システム研究科長 | 横山 宏章 |
| 大学院マネジメント研究科長 | 齋藤 貞之 |

【学部長等】

| | |
|------------------|-------|
| 基盤教育センター長 | 漆原 朗子 |
| 都市政策研究所長(兼務) | 晴山 英夫 |
| 国際教育交流センター長 | 木原 謙一 |
| 学術情報総合センター長 | 赤塚 正幸 |
| 学生部長 | 稲月 正 |
| 教務部長 | 二宮 正人 |
| 入試センター長 | 田村 大樹 |
| キャリアセンター長(兼務) | 晴山 英夫 |
| 地域貢献室長 | 吉塚 和治 |
| 評価室長(副学長兼務) | 近藤 倫明 |
| 学術情報総合センター副センター長 | 隈本 寛 |
| 評価室副室長 | 大平 剛 |

学部長等

平成20年6月1日付

アジア文化社会研究センター長 谷村 秀彦

教員採用

平成20年5月1日付

基盤教育センター 准教授 西田 心平

教員採用

平成20年6月1日付

法学部 教授 坂本 隆幸



環境・消防技術開発センター

平成20年4月、国際環境工学部(ひびきのキャンパス)に、新しい技術開発センターとして、「環境・消防技術開発センター(センター長:上江洲一也教授)」が開設されました。

5月15日には、阿南理事長をはじめ、北九州市の橋本副市長、消防庁消防大学の寺村消防研究センター所長など関係者が列席して、開所式が行われ、消防ヘリによる救助活動や泡消火剤による消火活動などの実演も行いました。

このセンターは、世界的に高い技術レベルを持つ北九州市の消防防災技術をより向上させていくことを目標としており、既に、本学・市消防局・地元のシャボン玉石けん(株)が共同で研究開発している「環境配慮型の一般火災用消火剤(泡消火剤)」の発展も期待されるなど、今後更なる産学官連携の推進、そして、益々の成果の創出が期待されています。



アジア文化社会研究センター

「アジア研究の拠点形成を目指して」

アジア文化社会研究センターは、平成20年6月1日に発足しました。本学のアジア地域に関する研究活動を推進し、アジアの発展を担う高度な人材育成に資することを目的としています。主な事業計画は、次の3点です。

- (1) アジア地域に関し、多様な専門分野を持つ教員間の連携を図り、学際的な調査研究を行うこと。
- (2) 調査結果、研究成果について学内外で報告を行い、地域、市民、企業等に還元すること。
- (3) アジア地域の調査研究に必要な文献、資料等の収集整理を行うこと。

今後、アジア地域等を研究対象とする学内外の研究者、研究機関をネットワーク化し、北九州におけるアジア研究の拠点形成を推進します。

また、今年度は、アジア文化社会研究センター主催で、2件のシンポジウムの実施を予定しています。

- 1) 「越境するアジアのポップカルチャー」(仮題) 11月予定
- 2) 「日・中・韓におけるケータイ時代の言語文字文化」(仮題) 12月予定

アジア文化社会研究センターの事務室は、北方キャンパス3号館3-115室、電話(093)964-4080、メールは、「asisen@kitakyu-u.ac.jp」です。

おしらせ②

中期計画・後期基本方針・平成20年度計画

1. 中期計画の順調な進捗

北九州市立大学は、平成17年度の法人化にあたり、6年間にわたる中期計画を定め、これに基づいて教育、研究、社会貢献などの大学運営を行っています。

中期計画は169の項目からなっており、6年間のちょうど半分を終えた平成20年4月1日時点では、全体の約55%にあたる93項目を完了し、また、約41%にあたる69項目が一部実施済みなど完了に近い段階にあります。

2. 後期基本方針と平成20年度計画

中期計画6年間の前半3年を経過する平成19年度には、これまでの取組みを総括し、後半3年に向けて後期基本方針をとりまとめました。この方針に沿って次のとおり平成20年度計画を定め、大学改革を推進しています。

3. 平成20年度計画(主要な取組み)

教育

●FDの推進、GPAの定着と
その活用など教育の質の向上

- ・FD推進組織を立ち上げ、全学的取組みとして、FDを企画し、充実した施策を推進する。(授業アンケート項目の統一、教員の自己評価の段階的実施、FD活動実績の公表検

討など)

- ・GPA制度について成績評価分布状況の把握、分析等により質の向上を図り、優秀学生表彰制度などへの活用を図る。

●語学教育の充実

- ・タコマ・コミュニティカレッジへの派遣留学や仁川大校との交換留学制度を開始する。
- ・TOEIC、TOEFLについて数値目標と目標達成学生割合を定め取り組む。(教養教育TOEIC470・TOEFL460点以上、50%、外国語学部英米学科TOEFL(PBT)550点以上、40%(いずれも2年終了時))

●新しい教育システムの構築

- ・平成20年4月に、ひびきのキャンパスにおいて国際環境工学部を再編し、あわせて基盤教育センターひびきの分室を設置。新しいカリキュラムを導入する。
- ・また、北方キャンパスにおいても社会システム研究科博士前期課程を設置し、既存の博士後期課程とあわせて5年一貫の教育体制を整備する。
- ・平成21年4月、夜間主コースを見直し、地域創生学群設置に向けて準備(文科省届出、広報、入試など)を進める(定員90名)。

●学生支援の充実

- ・メンタルケアの専門スタッフを強化する。
- ・早期支援システムの継続実施により休・退学者等の削減に努める。
- ・キャリアセンターと各学部との連携による各種キャリア支援事業を実施する。

●優秀な学生確保

- ・広報センターを中心に全学的に入試広報を推進し、一般選抜志願倍率5.4倍を確保する。

●入試制度の改革

- ・地域創生学群においてAO入試を導入する。
- ・平成19年度卒業生を対象に成績・進路などのデータを分析、入試選抜方式別の評価を実施し、入試制度について検討する。

研究

●アジア研究の拠点形成

- ・学内のアジア研究者をネットワークし、アジア文化社会研究センターを設置する。
- ・社会システム研究科博士前期課程を新設し、「東アジア専攻」を開設する。

●産学官連携プロジェクト・地域還元

- ・技術開発センター群事業を引き続き実施するとともに、アリア研究センターの事業評価を行い、今後のあり方を検討する。
- ・第2期知的クラスター創成事業「福岡先端システムLSI開発拠点構想」を推進する。
- ・カーエレクトロニクス設計開発中核人材育成事業を推進する。

●地域課題研究の推進

- ・都市政策研究所を中心に地域課題研究を推進する。

地域
貢献

●大学の知を活かした地域への貢献

- ・北九州学術研究都市内の大学間連携、北九州市内4大学の連携を推進し、閩門地域の大学間連携についても検討する。
- ・公開講座、法学部コミュニティ・コース、NPOとの連携などの地域貢献事業を継続して実施する。

大学
運営

●認証評価への取組み

- ・第三者機関による認証評価に向けて評価室を中心に準備を進める。

●経営体制の充実

- ・財源確保、コンプライアンスの強化、危機管理、情報セキュリティの徹底など、より充実した運営体制を構築する。

※参考 中期計画・後期基本方針・平成20年度計画 <http://www.kitakyu-u.ac.jp/outline/kouhyou.html>

活躍する教員

地域貢献活動



カキ殻による河川浄化と環境啓蒙プログラムの構築

国際環境工学部准教授 森田 洋

熊本県八代市の市民団体(次世代のためにがんばる会、松浦ゆかり代表)とともに、水産廃棄物である牡蠣の殻を汚染の激しい河川に投与することで浄化を試みる環境啓蒙プログラムの構築を進めている。

毎年6月に八代地域を中心とする子供たちと地域住民を対象に五百名規模で、二見漁港(熊本県八代市)にてカキ殻を採取。ネット袋にカキ殻を詰め、球磨川支流の新川(同八代市)に現在まで約30トン以上のカキ殻を投入している。投入後は環境に関するミニ授業の実施や昼食会などを実施することで世代間交流も図っている。

また定期的に河川清掃や水生生物観察会を行い、カキ殻を投入したことで川の環境がどのように改善していくか、地域住民が一体となって観察し、川を汚さない心を地域全体で培わせていくことを目指している。カキ殻による水質浄化能について研究を進めた結果、カキ殻のろ過機能やカキ殻を投入した箇所では貝類が大量に繁殖することなどが明らかとなった。

「隣人が誰なのかもわからない」といわれている昨今、本プログラムの効果として失われかけた地域コミュニケーションの再構築があげられる。このような取り組みが水質浄化そして地域交流のモデルケースとして全国に広がるものと期待している。

◆教員プロフィール

森田 洋(もりた ひろし)

1970年名古屋市生まれ。1999年九州大学大学院農学研究科博士課程修了、博士(農学)の学位を取得。その後、八代工業高等専門学校生物工学科助手(1999年～)、北九州市立大学国際環境工学部講師(2001年～)を経て、2006年4月より現職。置新市場開拓実行委員会委員(全国豊産業振興会)、環境市民団体「次世代のためにがんばる会」顧問などを務める。イグサの機能性と新規用途開発に関する研究では、2006年8月に敷物新聞社特別功労賞を受賞した。



ゼミ生でも連れて1日店長どうですか

文学部教授 竹川 大介

「大學堂」なんて場所をつくると、地域貢献だの街の活性化だのと錦の御旗のように祭り上げられるが、私としてはもとよりそんなつもりは全くない。

「大學堂」はメディアである。人類学という人間関係と異文化研究の専門家として、北九州の街でもっとも効果的に情報を収集し発信するために選びに選んだ媒体が、巨過市場なのである。

なにも大げさなことを言っているつもりはない。大學堂にいとたえず誰かが中をのぞき込み、縁側に座り、問われるまでもなく自分のライフヒストリーを語り始める。今時、床屋でも居酒屋でもこれほど濃密な生きた書物に出会える場所は少ないだろう。時間と人を費やさなければ都市の仮面ははがせない。学生も私も毎度毎度が勝負である。

地域活動を学問や大学の目的にするのは本末転倒である。そんなものは研究活動の副産物のうちのほんの一部にすぎない。研究の土壌が豊かであればあるほど副産物も多いが、副産物をあてにした瞬間、学問は萎縮する。

役に立つの立たないのと肝の小さなことをいうもんじゃあない。カリキュラムの枠にはまったく収まらないが、大学だからこそできる蕩尽(とうじん)がある。その懐の広さを「大學堂」という屋号の中に込めた。

大いに学んでほしい。ここには社会研究の原点があり人間関係の坩堝(るつぼ)がある。本を読むのに疲れたら、ゼミ生でも連れて1日店長どうですか。

◆教員プロフィール

竹川 大介(たけかわ だいすけ)

1995年京都大学大学院理学研究科博士後期課程単位取得退学、理学博士。沖縄・マレーシア・ソロモン諸島・ヴァヌアツ共和国などアジア・太平洋の海洋民に関する生態人類学研究にたずさわる。最近では、進化心理学の知見をもとに、贈与交換論の再考、とくに貨幣の起源とその役割について研究論文を出版した。



部活動紹介

音楽サークル



ひびきの
キャンパス

ひびきの

ブラスバンドサークル

『ひびきのブラスバンドサークル』が発足したのは2006年9月です。

当時、吹奏楽サークルは北方キャンパスにしか無かったため、楽器演奏をしたい人は北方まで通うか、諦めるしかありませんでした。そういう人たちが集まって、ポスターを作ったり口コミで人を集めたりして結成されたのがこのサークルです。

現在は、大学院生を含め部員数17名で活動を行っています。主な活動は、大学祭での演奏や他サークルへのゲスト参加などですが、学術研究都市会議場で行われている光貞市民センター主催「さまざまに音楽祭」にも去年から参加させていただきなど、機会があれば地域の音楽イベントにも積極的に関わっていきたくと考えています。

また、演奏以外でも、大学祭での模擬店の出展や卒業生の追い出し会など、年間を通して多彩なイベントのある楽しいサークルです。

今後も学内学外を問わず、活動範囲を広げていきたいと思っています。



北方
キャンパス

JAZZ研究会K&K

研究会と聞くと、あの曲がどうだとか、あの演奏者がこうだとか、机の上での勉強会を想像する方が多いようですが、そうではありません。サークルとして、また個人として、楽器のスキル、JAZZの演奏の向上を目指して活動しています。

その発表の場として、サマーコンサート(写真 7月5日文化祭での演奏)、まだ先にはなりますが、定期演奏会(12月20日 北九州芸術劇場 小劇場)などがあり、それ以外にも、外部の方から依頼があった場合などは、演奏させてもらうこともあります。

JAZZなんて普段は聴かないという人も、ぜひ一度どうでしょうか。



経営審議会委員から一言

● 北九大はもっと“ずうずうしく”

リクルート「カレッジマネジメント」編集顧問 経営審議会委員
中津井 泉



私のような関東の人間からすると「北九州」は鉄と石炭と工業地帯のイメージが浮かぶだけで、他に特徴を思い描くことのできない地域です。門司、小倉、八幡、戸畑、若松なら、もう少しイメージが湧くのですが、「北九州」ではそれはない。だから、そこにある市立大学も、市と同様、関東人には極めて特徴の見えない印象の薄い大学として映ります。

大学のみなさんは「決してそんなことはない。特色もあるし良いところも多い。ただ仰々しく大言壮語しないだけ」とおっしゃるでしょう。そうであるなら、ぜひその素晴らしい部分を宮崎の東国原知事のように外にも示してください。大言壮語しながら、それによって発展する。これからの大学にはそうしたずうずうしさも必要なことだと思います。

会議開催

▶第13回経営審議会開催状況

平成20年6月17日(火)北九州市立大学本館にて開催されました

- 議案 第1号/学長選考(選考会議委員の選出)について
 第2号/平成19年度計画に係る自己点検・評価報告書について
 第3号/平成19年度財務諸表、決算報告及び事業報告について

▶20年度教育研究審議会開催状況

議案

- | | | |
|--|---|---|
| <p>第72回 4月8日(火) 1 教員の採用について</p> <p>第73回 4月22日(火) 1 教員の採用について 2 名誉教授の称号授与について 3 基盤教育センター規程の一部改正について</p> <p>第74回 5月13日(火) 1 教員の採用について 2 特任研究員の選考について 3 アジア文化社会研究センターの設置について 4 北九州市立大学情報セキュリティポリシーについて</p> | <p>第75回 5月20日(火) 1 人事案件について</p> <p>第76回 5月27日(火) 1 教員の採用について 2 学長選考(選考会議委員の選出方法)について</p> <p>第77回 6月10日(火) 1 人事案件について 2 教員の採用について 3 平成19年度計画に係る自己点検・評価について 4 認証評価の取組みについて 5 学長選考会議委員の選出について</p> | <p>第78回 6月24日(火) 1 教員の採用について 2 特任研究員の選考について 3 学則の改正について</p> <p>第79回 7月8日(火) 1 教員の採用について 2 地域創生学群に係る各種委員の選任について</p> <p>第80回 7月29日(火) 1 教員の異動について 2 特任研究員の選考について</p> |
|--|---|---|

入試情報

1.試験日程

■平成20年

| 選抜名称 | 出願期間 | 試験日 | 合格発表 |
|------------------|---------------------|-------------------------------|---------------------|
| 推薦入学※ 社会人特別選抜 | 11/1(土) ~11/8(土) | 11/23(日・祝) | 12/6(土) |
| AO入試(地域創生学群) | 9/2(火) ~9/8(月) | 1次選考9/23(火・祝) 2次選考10/12(日) | 10/3(金) 10/31(金) |

■平成21年

| 選抜名称 | 出願期間 | 試験日 | 合格発表 |
|----------------------------|-------------------|--|---------|
| 帰国子女学生特別選抜※ 外国人留学生特別選抜※ | 1/5(月) ~1/9(金) | 2/11(水・祝) | 2/21(土) |
| 一般選抜(前期日程) | 1/26(月) 2/4(水) | 経済学部 文学部 地域創生学群 国際環境工学部 2/25(水) 外国語学部 法学部 2/26(木) | 3/7(土) |
| 一般選抜(後期日程)※ | | 3/12(木) | 3/21(土) |

※地域創生学群を除く

2.募集人員

| 学部・学群 | 学科・学類 | 募集人員 合計 | 選抜区分別募集人員内訳(人) | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|------------|----------------|------|------|-----|-------------|-------------|------|-------------|----------------|----------------|-----|--|
| | | | 一般選抜 | | 推薦入学 | | | | AO入試 | 社会人 特別選抜 | 外国人留学生 特別選抜 | 帰国子女学生 特別選抜 | | |
| | | | 前期日程 | 後期日程 | 全国 | 地域 | 商業科 総合学科 | 工業科 総合学科 | | | | | 特別 | |
| 外国語 | 英米 | 111 | 72 | 10 | 12 | 17 | - | - | - | - | - | - | - | |
| | 中国 | 50 | 44 | 6 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | |
| | 国際関係 | 80 | 50 | 10 | 20 | - | - | - | - | - | - | - | - | |
| 経済 | 経済 | 142 | 62 | 10 | 30 | 25 | 15 | - | - | - | - | - | - | |
| | 経営情報 | 142 | 62 | 10 | 30 | 25 | 15 | - | - | - | - | - | - | |
| 文 | 比較文化 | 142 | 70 | 10 | 27 | 30 | - | - | 5 | - | - | - | - | |
| | 人間関係 | 80 | 40 | 10 | 13 | 12 | - | - | 5 | - | - | - | - | |
| 法学部 | 法律 | 177 | 100 | 15 | 57 | - | - | - | - | - | 5 | - | - | |
| | 政策科 | 76 | 40 | 10 | 23 | - | - | - | - | - | 3 | - | - | |
| 地域創生 | 地域創生 | 90 | 35 | - | - | - | - | - | - | 15 | 40 | - | - | |
| 国際環境工 | エネルギー循環化 | 45 | 25 | 10 | 10 | - | - | 若干名 | - | - | - | - | - | |
| | 機械システム工 | 45 | 25 | 15 | 5 | - | - | 若干名 | - | - | - | - | - | |
| | 情報メディア工 | 70 | 42 | 20 | 8 | - | - | 若干名※ | - | - | 若干名 | 若干名 | 若干名 | |
| | 建築デザイン | 45 | 32 | 7 | 6 | - | - | 若干名 | - | - | - | - | - | |
| | 環境生命工 | 45 | 20 | 20 | 5 | - | - | 若干名 | - | - | - | - | - | |
| 合計 | | 1,340 | 719 | 163 | 246 | 109 | 30 | - | 10 | 15 | 48 | 若干名 | 若干名 | |
| | | | 882 | | 395 | | | | | | | | | |

※情報科推薦を含む

眼下に広がる百億ドルの夜景…

File.001

皿倉山

Sarakura Mountain



■山頂までいけるスロープカーから見える夜景はすい込まれるような美しさを楽しめます。



新日本三大夜景にも選定されている夜景の名所として有名な皿倉山。山頂には室内展望室を備えた展望台があります。標高622mの山頂から臨むその夜景は300度を超える大パノラマで、「100億ドルの夜景」と称される美しさです。

また皿倉山は自然に恵まれ、樹齢250年を超える皇后杉林があり、多くの登山家や自然散策を楽しむ人で賑わっています。山麓駅から8合目山上駅までは九州最長のケーブルカーが、山上駅から山頂展望台までは新しく整備されたスロープカーが結んでいます。全面ガラス張りの車窓からの眺めをお楽しみ下さい。※7・8・9月は夜間営業致します。

- ケーブルカー
大人片道420円 小人片道210円
【土日祝10:00~21:30 平日10:00~18:00】
7、8、9月は平日も21:30まで営業
- スロープカー
大人片道200円 小人100円
(7/1~9/30はサマータイム割引! 大人100円・小人50円)
【ケーブルカーの運行時間に活動】
- 山頂展望台
入場無料【10:00~ケーブルカー終電迄の10分前】
レストラン【オーダーストップ20:00】
- 皿倉山ビジターセンター
TEL.093-681-5539
【10:30~16:30(休館日/月曜日※但し、祝日の場合は翌日・年末年始)】

アクセス

- 住所 / 北九州市八幡東区大字尾倉1481-1
- 駐車場 / 130台(無料)
- 交通アクセス / J R黒崎駅から西鉄バス42番「戸畑渡場」行き乗車15分
- 車 / 都市高速「大谷ランプ」より3分
- 高速バス「高速帆柱ケーブルバス停」下車 山麓駅まで徒歩5分
- 西鉄バス「帆柱登山口」下車山麓駅まで徒歩15分
- J R八幡駅から徒歩20分

◎出張講義、大学見学のご要望は随時受け付けています。お気軽にお尋ねください。
お問い合わせは、大学広報入試課(Tel.093-964-4196)までお願いします。

